

## LPガスCP情報(2015年4月積み)

### 1. 4月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン460<sup>ドル</sup> (前月比 -40<sup>ドル</sup>)

ブタン 470<sup>ドル</sup> (前月比 +10<sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油市況、石油製品市況が乱高下しながら軟化するなか、需要のピークを過ぎてLPガススポット市況は続落した。CP先物は第3週まで続落、第4週には4月後半着玉の引き合いが強まり反騰したが、需給は弱く暖房需要が減少したプロパンとブタンのスプレッドは逆転した。期先は7月までバックワーデーション(期先安)だが7月以降は緩やかな傾斜でコンタンゴ。極東CFRは第3週でプロパン510<sup>ドル</sup>、ブタン530<sup>ドル</sup>と月初からプロパン50<sup>ドル</sup>下落、ブタン10<sup>ドル</sup>上昇。フレート市況は船舶需給が緩和し続落、第4週で87<sup>ドル</sup>まで下げた。バンカーオイルは原油市況に追随、月初の365<sup>ドル</sup>から中旬には306<sup>ドル</sup>に続落、下旬には330<sup>ドル</sup>台に戻したが、月間平均で328<sup>ドル</sup>と18<sup>ドル</sup>下げた。ナフサも原油市況に連動して乱高下、550~492~575<sup>ドル</sup>で推移、月間平均前月比3<sup>ドル</sup>の上昇。一方、米モンテベルビュープロパンスポット価格は、原油市況の下落と、プロパン在庫の増加で軟化、2日の316<sup>ドル</sup>から23日には266<sup>ドル</sup>まで下げた。

4月CPは前年同月比プロパン310<sup>ドル</sup>、ブタン375<sup>ドル</sup>の下落。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン6ポイント下落、ブタン6ポイント上昇、前年同月比ではプロパン18、ブタン12ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	101	104	99	87	98
CP先物指標:P	470	440	425	445	445
CP先物指標:B	455	440	430	455	445

#### ② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは2月49<sup>ドル</sup>台でスタート。リビアの生産低下などの地政学上リスクで一時50<sup>ドル</sup>を回復したが、米原油生産量はEIA統計(1983年~)で最高の942万b1/dを記録、米国原油在庫も統計史上最高の467百万バレルまで積み上がり、世界的供給過剰感が市況を圧迫、中旬には43<sup>ドル</sup>台まで下げた。下旬にはFOMC(米連邦公開市場委員会)を受けてドル安が進行、サウジのイエメン軍事介入もあって26日には51<sup>ドル</sup>台まで上昇した。一方、先物市場はボラティリティ(変動幅)が高まり、43~51<sup>ドル</sup>のレンジで乱高下を繰り返した。NYMEXでは中旬にWTI総取組高が177万枚と昨年7月以来の水準に増加したが、大口投機玉の売り立て玉が急増し買越残高は下旬に20万枚まで急減した。

○3月積みアラビアンライト(3月2~31日)は52.587<sup>ドル</sup>(前月比-1.848<sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン431.16<sup>ドル/トン</sup> ブタン425.25<sup>ドル/トン</sup>

AL比 プロパン106.69% ブタン110.52%

### 2. 2015年4~5月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	121.19	55,747	56,959	-4,600	1,400
26~25日②	121.42	58,300	56,500	1,600	400
1~30日③	121.36	58,300	56,400	1,500	200

\*TTS平均は①が3月16日~3月31日まで、②は2月26日~3月25日

③は3月1~31日、①は5月仕切への影響、②~③は4月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。